

妙法華寺便り

令和4年12月号

◇ 行事報告 ◇

11月18日（金）摩利支天月例祭

摩利支天月例祭を通常の形で執行させて頂きました。

少し早いですが、12月22日は冬至です。一年にはこの「至」の付く日があります。夏至です。又この中間は春分・秋分となります。冬至は一番夜が長く、夏至は昼が長いですね。

この冬至は「湯治」と同じ発音から、この日にお風呂に入ると「湯治」に行った事と同じだということになります。そこで、せっかくだからもっと融通を効かせて欲しいと思う

わけです。そこで「融通が利く」転じて「柚が効く」となり、お風呂に柚を入れて入浴するようになりました。

またまた、せっかくなので、運が付くのはどうすれば良いかと考えて、「ん」が付く食べ物を食べればよいのでは？ということになり、更に1つより2つ「ん」がある方がよいということで、「なんきん」「にんじん」「れんこん」「きんかん」「かんてん」……などを食べるようになりました。最後は「うどん」です。「ん」が一つのようなのですが、漢字では「饅頭」「おんどん」と読めます。更に長く吸い込むので、延命長寿の意味にもなりました。家で出来る運氣向上を行ってみては如何でしょうか。



11月19日（土）・20日（日）日蓮聖人御会式

日蓮聖人第741回の御会式を19日午後6時より逮夜の式典、翌日は午前10時と午後2時過ぎより法要式を、総代世話人をはじめ檀信徒の方々と共に執り行いました。組寺からは、大坊・不変院様と正善院様をご参拝くださいました。



また、令和元年より御志納のあった檀信徒の方には回向札を授与させて頂いております。御札には日蓮聖人の御遺文の一説を載せております。今年の「じゅうおうさんたんしょう十王讃歎抄」の一文ですが、意識しますと、雪中のたけのこ筍といえども、ほうきぜん法喜禅悦えつ（教えに触れることを喜びとし、修行に勤し

むことを悦びとする事)の食の味にはかなわない。叔雄^{しゅう}が身を投じて、さらに出離^{しゅつりせい}生死(生死の迷いを離れること)の便りにはならない。ただ善根を行い、父母が煩惱を断って迷いの苦をのがれることを祈れ。となります。

父母の恩を偲びお題目をお唱え下さい。また、二日間に渡る式典の準備、当日のご接待、片付けをして下さった皆様、ありがとうございました。

六地藏様

妙法華寺供養塔台地に六地藏をお祀りさせて頂き2年が過ぎました。今年も色あせた涎掛けを新調させて頂きました。



◇ 行事案内 ◇

除夜の鐘

1月1日(日)午前零時を合図に、お寺の鐘を108回撞きます。集合時間は、31日午後11時50分です。除夜の鐘について、清らかな気持ちで新年を迎えましょう。

摩利支天大祭・御札等の跋魂祭

新年1月18日(水)午前10時より本堂にて跋魂祭を執行し、引き続き摩利支天月例祭を拝殿にて執り行います。古い御札や塔婆・予めお預かりした位牌などの魂を抜いて自然のものへと戻って頂く儀式です。当日御札などをお持ちになる方は、開始20分前には受付をお願いします。

また、今年1月に跋魂した古い御札やお塔婆などは、11月30日からの最上稲荷お火焚き祭期間中に最上稲荷にて住職がお焚き上げいたしました。



開運星祭(厄除け祈願)

2月4日(土)午前10時より本堂にて執行いたします。

「大摩利支尊天」の御神力をいただき「年中安全」の御守護が受けられるように、厄除け諸難除けの特別祈禱を行いますので、是非、お申し込み、ご参加ください。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方は、後日、お送りいたします。

文末になりましたが、当山では本年も無事諸行事を修めさせて頂き、大過なく日々過ごさせて頂きました。これも諸天善神のご加護と檀信徒の皆様の護持・ご協力のおかげです。ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。合 掌